

令和4年度 学校自己評価システムシート 日高市立高麗川中学校

目指す学校像	できないをできるに変え、夢ある未来を拓く学校
重点目標	1)主体的・対話的で深い学びによる学力の向上 2)コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育の推進 3)授業力・指導力の向上 4)生徒指導・教育相談の充実 5)特別支援教育の推進

学 校 自 己 評 価						
年 度 目 標			令和4年度評価 (1月19日現在)			
評価項目	具体的方策	評価指標	A+Bの割合		達成状況	達成度
			職員	保護者		
組織運営の充実 (小中一貫の視点)	・学校教育目標の周知と共有 ・小中合同研修会の実施による小中一貫教育の推進	1 学校教育目標「自立と貢献」の実現を目指し、生徒の育成に努めている	92	95.8	・学校教育目標を具現化するために各種行事や教育活動との関連を意識し、実施するよう努めた。 ・小中の合同研修会を年3回実施し、各教科等において、内容の構成を確認し、9年間を見通した指導計画の作成に着手できた。	B
		2 小学校との連携を推進し、小中一貫教育に努めている	80	79.5		
基礎学力の定着	・主体的・対話的で深い学びを目指した授業研究会の実施 ・自主学習への意欲付けによる家庭学習の習慣化	3 学習内容が身につくよう、学習規律を定着させ、わかりやすい授業、楽しい授業をしている	96	90.8	・埼玉県学力・学習状況調査から学習の効果を高めるために行う活動を視点にした授業研究会を年3回実施し、生徒の学び合いが増えた。また、タブレット端末の活用方法に広がりが見えた。 ・生徒主体の自主学習推進キャンペーン等により意欲を高め、家庭学習の習慣化を図った。	A
		4 生徒が家庭学習に取り組めるよう指導している	99	89.2		
保護者や地域との連携 (コミュニティ・スクールの視点)	・各種便り、メール等による情報発信 ・学校公開の実施 ・共感と傾聴を大切にした三者相談の実施	5 保護者・地域に学校の取組や教育活動を伝えている	100	93.7	・定期の便りやメール配信とともにコロナ禍の制限が緩和され、行事等保護者の参観する機会を増やすことができ、情報発信については概ね高評価をいただくことができた。 ・保護者、地域の声を誠実に受け止め、迅速な対応に努めた。	A
		6 家庭への連絡や相談など、意思疎通を図ろうとしている	100	91.9		
社会性人間性の育成	・いじめアンケート、生活アンケートの実施による実態把握 ・生徒が主体となり活躍できる行事の実施	7 生徒がだれとでも仲良く生活し、いじめや不登校がないよう努めている	100	91.1	・生徒とともに過ごす時間を大切に、温かな見守りと見届けに努めた。登校の安定しない生徒の支援者として、面談や家庭訪問を実施し、外部機関とも連携できた。 ・コロナ禍の制限緩和もあり、各行事の充実が図られ、生徒の心の育成ができた。	A
		8 学級活動や生徒会活動、学校行事などを通して、生徒の心の育成をしている	96	96.9		
安心安全な教育環境	・施設設備の月点検、日常点検の実施 ・定期的な自転車点検や学期末ごとの交通安全指導、年度当初の交通安全教室の実施	9 校舎内外の施設設備などが安全に使用できるようにしている	96	95	・定期点検を確実に実施できた。2階以上の窓には、全て転落防止用のストッパーを設置した。修繕箇所にも適切に対応ができた。 ・定期的な自転車点検を確実に実施することができた。また、事前予告をせずに避難訓練を実施し、安全な行動への意識を高めることができた。	B
		10 生徒に登下校時の交通安全など、安全安心な学校づくりに努めている	96	87.8		

学校運営協議会での評価
実施日 令和5年2月13日
学校運営協議会の委員からの意見・要望・評価等
<p>・体育祭では、一人ひとりが自分のやるべきことに懸命に取り組み(自立)、自分のクラスや団の仲間と協力して戦う姿勢(貢献)に感動した。開会式での規律正しい行動が大変良かった。学校全体で一致団結して練習に励んだ様子がよくわかった。 ・小中一貫教育については、校舎が別々ということもあり実感が無いのかと思われる。行事等において連携し、つながりを具体的に見せる機会があるとよい。課題を明確にし、継続した取り組みが必要である。</p> <p>・どの授業を見ても生徒が落ち着いて授業に取り組んでいる姿に好感が持てる。今後も学び合う場を授業に取り入れることで、生徒に学ぶ楽しさを味わわせてほしい。探求心を育てる授業を期待する。 ・授業研究会は質の高い授業を実現するために、今後も継続してほしい。 ・自主学習推進キャンペーン等により学習意欲を高め、家庭学習の習慣化を図ることは、とてもよい取り組みだと思う。</p> <p>・様々な内容を伝える学校だよりを楽しみにしている。教員の中学生時代の思い出や紹介記事があるとより興味を持ってもらえるのではないと思う。個人情報に配慮しながら、ホームページでも学校生活が広報されている。卒業生の高校生活や活躍を伝えることで、進路選択の一助となると思う。コロナ禍においても工夫した教育活動が伝わった。 ・細やかな連絡、対応に感謝する。学校で「できること」と「できないこと」はしっかりと伝える必要はある。</p> <p>・3年生の模擬面接では、多くの生徒から友達を想う言葉や先生を信頼しているとの言葉があり、よい人間関係ができていたことを実感した。 ・自信をもって元気に挨拶ができるようになってほしい。 ・個性、多様性を認める教育の成果が表れているように思う。外部講師を招いての道徳や人権教育を実施し、保護者も共に学ぶ機会を設けることもよいと思う。 ・生徒と共に過ごす時間を大切に、温かな見守りと見届けが生徒にとって大切なことだと感じている。</p> <p>・校舎内外が常に整備されており、よく点検されていると感じる。引き続きよい環境を維持するために、複数の目で整備できればよいと思います。 ・学校施設設備のバリアフリー化も必要であると思う。 ・避難訓練では予告しない行動も大切である。訓練の形骸化を防ぐために、第3者の目も必要だと思う。 ・交通安全指導を徹底し、今後も大きな事故の未然防止に努めてほしい。本校の生徒には、ぜひ模範的な自転車運転ができることを期待している。</p>

※達成度 「A」ほぼ達成(8割以上) 「B」概ね達成(6割以上) 「C」変化の兆し(4割以上) 「D」不十分(4割未満)